

つ	大	区	ラ	負	ま	て	次	区	の	層	若	た	大	花	四	三	二	一	私
い	き	も	ン	担	り	、	に	長	ま	の	年	区	き	川	区	子	地	花	は
て	な	区	ス	増	ま	医	団	の	ち	推	層	長	な	区	の	ど	川	北	
お	質	民	を	が	し	療	塊	御	づ	進	の	に	第	長	魅	も	区	区	
尋	問	も	ど	避	た	と	の	決	く	ー	定	最	一	・	力	・	長	公	
ね	の	厳	う	け	°	介	世	意	り	で	住	重	の	内	や	子	4	明	
し	第	し	取	ら		護	代	を	に	は	化	要	質	田	価	育	期	党	
ま	二	い	り	れ		の	が	お	つ	王	ー	課	問	教	値	て	目	議	
す	は	判	老	な		在	お	伺	い	子	に	題	は	育	を	支	の	員	
°	地	断	後	い		り	し	ま	て	駅	つ	ー	4	長	創	援	施	団	
	域	の	の	中		方	ま	す	直	や	い	子	期	に	る	新	政	を	
	包	時	安	サ		の	°		面	十	て	育	目	ま	制	方	針	代	
	括	代	心	ー		大			す	条	ー	て	の	ち	度	に	に	表	
	ケ	を	を	ビ		き			る	駅	ま	フ	当	づ	に	つ	つ	し	
	ア	迎	実	ス		な			課	な	ち	ア	選	く	つ	い	い	て	
	シ	え	現	水		見	2025		題	ど	づ	ミ	を	り					
	ス	て	す	準		直	年		に	の	く	リ	果	に					
	テ	い	る	と		し	に		対	駅	り	ー	た	つ					
	ム	ま	か	の		が	向		す	周	の	層	さ	い					
	に	す	、	バ		始	け		る	辺	一	・	れ	て					

2	を	1	法	地		①	大	す	み	病	高	は	地	る	同	れ	で	を	地
今	来	支	が	域	お	そ	き	る	慣	院	齢	地	域	だ	時	目	生	受	域
年	年	援	が	包	尋	の	く	に	れ	や	化	方	包	け	に	な	活	け	包
4	4	1	年	括	ね	前	重	は	た	介	の	自	括	費	サ	く	す	る	括
月	月	・	六	ケ	し	提	い	ど	地	護	状	治	ケ	用	ー	受	と	と	ケ
よ	か	2	月	ア	ま	と	と	う	域	施	況	体	ア	を	ビ	け	と	こ	ア
り	ら	の	に	シ	す	な	考	す	で	設	等	に	シ	抑	ス	ら	こ	ろ	シ
特	北	方	改	ス	°	る	え	れ	安	か	地	委	ス	え	提	れ	ろ	か	ス
別	区	の	正	テ		介	ま	ば	心	ら	域	ね	テ	る	供	る	ま	ら	テ
養	の	通	さ	ム		護	す	良	し	、	の	ら	ム	事	の	体	で	、	ム
護	事	所	れ	推		保		い	て	家	実	れ	は	も	効	制	、	往	は
老	業	・	ま	進		険		か	生	で	情	ま	具	目	率	づ	必	診	入
人	に	訪	し	の		制		、	を	の	を	し	体	指	化	く	要	や	院
ホ	移	問	た	為		度		区	全	生	踏	た	的	し	に	り	な	介	し
ー	行	介	°	、		改		が	う	活	ま	°	な	ま	よ	を	サ	護	て
ム	し	護		医		正		担	で	を	え		計	す	っ	目	ー	を	手
の	ま	サ		療		に		う	き	柱	る		画	°	指	ビ	ス	受	厚
入	す	ー		・		つ		役	る	に	為		づ		し	を	け	、	医
所	°	ビ		介		い		割	様	、	で		く		ま	を	、	家	療
が		ス		護		て		は	に	住	す		り		す	切	家	療	

。

。

区	質	お	医	性	並	上	す	質	じ	得	介	題	始	れ	す	4	用	3	原
民	問	伺	療	は	み	で	る	問	た	者	護	に	め	ま	る	低	者	今	則
税	の	し	は	ど	所	利	合	の	応	が	保	つ	に	し	補	所	は	年	要
額	第	ま	1	う	得	用	計	第	益	多	険	い	一	た	足	得	自	8	介
確	2	す	割	か	に	者	所	1	負	く	制	て	定	°	給	の	己	月	護
定	と	°	、	？	相	2	得	と	担	払	度	お	以		付	施	負	か	3
後	し		介		当	割	100	し	と	う	発	尋	上		の	設	担	ら	以
に	て		護		す	負	万	て	し	応	足	ね	所		要	利	が	年	上
サ	、		は		る	担	円	被	て	能	以	し	得		件	用	2	金	に
ー	8		2		原	導	以	保	制	負	来	ま	者		見	者	割	収	限
ビ	月		割		則	入	上	險	度	担	2	す	の		直	の	に	入	定
ス	施		負		300	は	11	者	が	、	年	°	、		し	食	な	が	さ
利	行		担		万	、	年	の	浸	利	間		2		に	費	り	年	れ
用	に		の		円	医	金	上	透	用	、		割		資	・	ま	200	ま
者	向		方		基	療	収	位	し	料	保		負		産	居	す	万	し
に	け		が		準	保	入	2	て	は	險		担		等	住	°	円	た
1	て		出		と	險	200	割	き	利	料		導		が	費		以	°
割	北		ない		の	の	万	に	ま	益	は		入		追	を		上	
負	区		いか		整	現	円	該	し	に	高		の		加	補		の	
担	は				合	役	以	当	た	応	所		課		さ	填		利	

。

護	こ	業	②	金	事	利	が	ビ	担	が	月	聞	は	質	区	証	ー	被	割
サ	の	に	次	収	前	用	あ	ス	該	二	額	き	約	問	民	を	と	保	合
ー	事	つ	に	入	の	者	り	種	当	倍	上	し	4,000	の	も	セ	サ	険	証
ビ	業	い	新	を	周	の	ま	類	者	に	限	ま	人	第	含	ッ	ー	者	と
ス	は	て	し	知	知	年	す	や	は	な	が	す	、	3	め	ト	ビ	に	2
を	要	お	い	り	が	金	。	回	居	る	あ	。	二	と	ど	で	ス	送	割
区	支	尋	介	ま	必	収		数	宅	為	る		割	し	確	事	付	負	
の	援	ね	護	せ	要	入		の	サ	、			負	て	認	業	さ	担	
地	1	し	予	ん	と	等		変	ー	見			担	現	す	者	れ	割	
域	・	ま	防	〜	考	の		更	ビ	直			該	在	る	は	ま	合	
支	2	す	・	お	え	経		〜	ス	し			当	北	必	被	す	証	
援	の	。	日	伺	ま	済		が	計	対			者	区	要	保	が	を	
事	方		常	し	す	的		必	画	象			は	で	が	険	、	作	
業	の		生	ま	す	ア		要	の	の			約	サ	あ	者	ケ	成	
に	通		活	す	〜	セ		に	見	全			4,000	ー	り	証	ア	し	
移	所		支	。	ケ	ス		な	直	員			人	ビ	ま	と	マ	、	
す	・		援		ア	メ		る	し	の			と	ス	す	負	ネ	7	
事	訪		総		マ	ン		可	〜	負			。	利		担	ー	月	
で	問		合		ネ	ト		能	サ	担				用		割	ジ	中	
す	介		事		は	と		性	ー	負				者		合	ャ	に	

。

5	く	制	化	支	今	く	民	つ	介	ね	は	地	高	す	地	わ	・	地	今
月	り	度	を	援	回	の	一	く	護	ば	何	域	め	が	域	せ	ボ	域	回
31	に	や	行	の	の	時	人	る	の	な	よ	の	る	、	の	て	ラ	支	の
日	も	取	う	担	法	間	一	に	要	り	り	ニ	狙	同	力	実	ン	援	改
現	区	り	生	い	改	と	人	は	支	ま	も	ー	い	時	を	施	テ	事	革
在	の	組	活	手	正	労	の	、	援	せ	区	ズ	も	に	福	で	ィ	業	は
要	支	み	支	を	に	力	意	単	の	ん	民	に	あ	心	祉	き	ア	に	、
支	援	の	援	養	よ	が	識	なる	方		に	応	り	温	に	る	の	移	画
援	が	あ	サ	成	り	必	を	る	が		積	じ	ま	か	使	よ	協	し	一
1	行	り	ー	・	、	要	高	制	安		極	た	す	い	う	う	力	、	的
・	わ	方	ビ	発	地	で	め	度	心		的	ー		サ	の	に	を	町	サ
2	れ	を	ス	掘	域	す	て	改	し		な	助		ー	は	変	得	会	ー
の	ま	検	コ	し	で	°	い	正	て		参	け		ビ	費	え	て	・	ビ
方	す	討	ー	、	ボ		か	と	暮		加	合		ス	用	る	地	自	ス
は	°	す	デ	ネ	ラ		ね	違	ら		を	い		で	を	の	域	治	の
6,170		る	ィ	ッ	ン		ば	っ	せ		求	ー		生	抑	が	の	会	予
人		協	ネ	ト	テ		な	て	る		め	の		活	え	狙	実	や	防
い		議	ー	ワ	ィ		ら	地	地		て	仕		の	る	い	情	N	給
ま		体	タ	ー	ア		ず	域	域		行	組		質	為	で	に	P	付
		づ	ー	ク	や		多	住	を		か	み		を	で	す	合	O	を

総 合 事 業 の 上 限 額 に つ い て お 伺 し ま す 。	が 加 算 と な る と お 聞 き し ま す 。	し た が 、 総 合 事 業 で は 5 歳 以 上 高 齢 者 の 伸 び	業 全 体 で 介 護 給 付 費 の 3 % を 上 限 と し て い ま	給 付 費 の 2 % を 上 限 と し 、 さ ら に 地 域 支 援 事	現 行 の 地 域 支 援 事 業 に お い て は そ れ ぞ れ 介 護	い て お 尋 ね し ま す 。	ビ ス ー と ー 総 合 事 業 ー の 財 源 の 上 限 設 定 に つ	質 問 の 第 3 と し て ー 介 護 予 防 ・ 生 活 支 援 サ ー	区 の 見 解 と 4 月 実 施 区 の 動 向 を お 伺 し ま す 。	る 額 を 上 限 と し て 区 が 独 自 に 設 定 と 聞 き ま す 。	質 問 の 第 2 と し て サ ー ビ ス 単 価 等 は 国 が 定 め	や 協 議 体 の 設 置 の 考 え に つ い て お 伺 し ま す 。	ン タ ー の 活 用 と 、 生 活 支 援 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	者 い き い き サ ポ ー タ ー 制 度 ・ シ ル バ ー 人 材 セ	え 、 N P O ・ 有 償 ・ 無 償 ボ ラ ン テ ィ ア ・ 高 齢	従 来 の 介 護 予 防 訪 問 介 護 に よ る サ ー ビ ス に 加	に つ い て お 尋 ね し ま す 。	質 問 の 第 1 と し て 住 民 主 体 の 支 援 活 動 の 推 進	す 。
--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	---	--	--------

年齢者は86,255人、その内55歳以上の高年齢者は	北區は平成24年1日現在、86歳以上の高	り易い名称にできないのでしようか。	地域包括ケアシステムを武蔵野市のような分	し「まちぐるみ」の支え合いと言っています	「ぐるみ」ケアシステムを「支えあい」と訳	視察した武蔵野市は、地域を「まち」包括を	現状と課題についてお尋ねします。	③次に北區における地域包括ケアシステムの	た場合の限度額管理についてお伺します。	を利用している要支援者が総合支援を利用し	予防給付（通所リハビリや福祉用具貸与等）	負担「等の課題についてお尋ねします。	質問の第5として「限度額管理」や「利用者	どの様に実施し、判断されるのかお伺します	エックリスト該当で利用とお聞きします。	予防サービス事業のみ利用の場合には、基本チ	給付を利用せず、総合事業の生活支援・介護	にっついてお尋ねします。	質問の第4として基本チェックリストの活用
----------------------------	----------------------	-------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	--------------------	----------------------	----------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	--------------	----------------------

地	護	介	こ	ま	質	関	両	の	2	要	施	1	質	口	課	4,	の	65	42,
域	保	護	れ	す	問	わ	面	退	医	介	設	医	問	で	題	944	方	歳	391
ケ	険	保	ま	。	の	り	か	院	療	護	に	療	の	す	は	世	は	以	人
ア	事	険	で		第	、	ら	か	処	認	入	処	第	。	高	帯	30,	上	で
会	業	法	通		2	2	調	ら	置	定	所	置	1		者	で	562	の	。
議	計	の	知		は	つ	整	在	が	者	で	が	は		単	。	人	高	
は	画	制	に		地	の	す	宅	必	。	き	必			身		単	化	
ひ	の	度	位		域	課	る	に	要		な	要			世		独	率	
と	重	に	置		ケ	題	高	移	と		い	な			帯		を	は	
り	点	位	し		ア	を	齢	行	な		在	為			と	含	む	25.5	
の	的	置	て		会	お	者	す	っ		宅	、			25	高	齢	%	
支	取	づ	い		議	伺	あ	る	た		医	特			歳	者	の	、	
援	組	け	た		に	し	ん	際	1		療	養			以	の	み	そ	
か	に	ら	地		つ	ま	し	、	人		が	ホ			上	の	内	の	
ら	入	れ	域		い	す	ん	介	暮		必	ー			の	単	内	の	
地	り	、	ケ		て		セン	護	ら		要	ム			高	身	単	内	
域	ま	第	ア		お		ン	・	し		に	等			齢	所	身	の	
を	し	6	会		尋		タ	医	高		な	の			者	帯	所	の	
考	た	期	議		ね		ー	療	齢		っ	介			人	は	帯	の	
え	。	介	が		し		の	の	者		た	護			人		所	の	

例	質	ん	度	人	制	者	3	援	け	改	ポ	2	る	ス	1	だ	質	ツ	る
え	問	で	に	、	度	安	取	が	で	め	ー	関	こ	タ	高	き	問	ー	個
ば	の	い	基	民	上	心	り	大	は	て	タ	係	と	ッ	齡	た	の	ル	別
認	第	た	づ	生	で	セ	組	切	片	全	ー	者	が	フ	者	い	第	と	課
知	4	だ	か	委	解	ン	み	に	付	体	ー	へ	地	間	安	事	3	考	題
症	は	き	な	員	決	タ	か	な	か	を	と	家	域	で	心	で	は	え	の
の	困	た	い	、	出	ー	ら	り	な	見	の	族	づ	事	セ	す	地	ま	発
母	難	い	援	ボ	来	の	明	ま	い	渡	ワ	・	く	例	ン	。	域	す	見
親	事	、	助	ラ	な	事	確	す	問	す	ー	介	り	を	タ		ケ	が	・
の	例	お	で	ン	い	業	に	。	題	と	ク	護	の	共	ー		ア	、	解
介	に	伺	作	テ	も	計	な		が	、	シ	保	ス	有	の		会	区	決
護	つ	し	り	ィ	の	画	っ		多	医	ョ	険	タ	し	相		議	の	・
を	い	ま	出	ア	は	に	た		く	療	ッ	事	ー	対	談		で	考	地
し	て	す	す	、	家	載	地		、	と	プ	業	ト	応	事		取	え	域
て	お	。	事	N	族	せ	域		日	福	の	者	に	に	例		り	を	課
い	尋		に	P	、	確	課		常	祉	実	・	な	つ	の		組	お	題
る	ね		も	O	近	認	題		の	の	施	認	り	い	分		ん	伺	の
婦	し		取	等	隣	し	は		生	連	で	知	ま	て	析		で	し	共
人	ま		り	の	、	ま	高		活	携	す	症	す	考	で		い	ま	有
が	す		組	制	友	す	齡		支	だ	。	サ	。	え	す		た	す	の

。

。

。

。20 × 20

北 区 の 困 難 事 例 の 体 制 を お 伺 し ま す 。	1 チ を 掛 け る 3 層 と な っ て い ま し た 。	域 ケ ア 推 進 係 が 、 次 に 特 別 援 護 係 が ア ウ ト リ	よ り 保 健 福 祉 セ ン タ ー （ 通 称 お と セ ン ） の 地	ン タ ー の 困 難 事 例 ・ 虐 待 事 例 は 最 初 に お と し	調 査 、 総 合 首 位 の 板 橋 区 で は 地 域 包 括 支 援 セ	日 経 新 聞 が 実 施 し た 第 2 回 介 護 ・ 高 齢 化 対 応	か ら 平 成 25 年 17,922 件 と 10 倍 に な っ て い ま す 。	件 数 （ 相 談 件 数 で は 無 い ） が 平 成 18 年 1,724 件	そ の 結 果 ニ 箇 所 の 地 域 型 支 援 セ ン タ ー の 支 援	ト リ ー チ す る 支 援 体 制 を 構 築 し て い ま す 。	直 轄 の 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー に つ な ぎ 、 ア ウ	者 虐 待 、 消 費 者 被 害 、 困 難 事 例 等 の 対 応 は 市	視 察 し た 富 士 宮 市 （ 人 口 約 135,000 人 ） で は 高 齢	こ の 場 合 の 区 の 対 応 を お 伺 し ま す 。	等 相 談 窓 口 は バ ラ バ ラ で す 。	認 知 症 と 障 害 者 、 児 童 福 祉 、 D V 、 生 活 福 祉	費 や 生 活 費 に 困 っ て い る と い う 相 談 が あ っ た	と 離 婚 し 、 子 ど も は 障 害 を 持 っ て い 、 医 療	介 護 疲 れ か ら う つ 病 に な り 、 そ れ が 原 因 で 夫
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	---	--	---	--	--	---	--

る	サ	内	防	る	従	生	仮	な	ん	1	4	北	ア	板	な	国	調	り	質
予	プ	容	（	前	来	活	に	い	が	病	在	区	全	橋	く	の	整	組	問
防	リ	を	介	段	の	に	病	こ	、	気	宅	に	体	区	政	認	組	む	の
、	メ	転	護	階	治	復	気	と	患	に	医	も	を	の	府	知	織	為	第
健	ン	換	、	の	療	帰	に	で	者	な	療	同	調	地	一	症	設	、	5
康	ト	す	リ	健	と	で	な	す	の	っ	・	様	整	域	丸	施	置	組	は
増	に	る	ハ	康	投	き	っ	°	真	た	介	な	す	ケ	と	策	に	織	地
進	よ	必	ビ	増	薬	る	て		の	ら	護	仕	る	ア	な	推	つ	横	域
、	る	要	リ	進	を	こ	も		ニ	治	連	組	機	政	っ	進	い	断	包
病	栄	が	）	、	な	と	重		丨	療	携	み	能	策	て	総	て	的	括
気	養	あ	中	予	る	で	症		ズ	と	に	が	が	調	生	合	お	に	ケ
の	補	り	心	防	べ	す	化		は	投	つ	あ	あ	整	活	戦	尋	課	ア
早	給	ま	へ	・	く		を		極	薬	い	る	り	会	全	略	ね	題	シ
期	や	す	医	予	抑		避		力	は	て	の	ま	議	体	が	し	解	ス
の	運	°	療	知	え		け		、	避	お	か	す	は	を	厚	ま	決	テ
予	動		サ	、	、		、		病	け	尋	お	°	地	支	労	す	を	ム
知	指		丨	重	病		、		気	ら	ね	伺		域	え	省	°	図	構
と	導		ビ	症	気		、		に	れ	し	し		包	る	だ		る	築
発	に		ス	化	に		、		な	ま	ま	ま		括	様	け		内	に
見	よ		の	予	な		常		ら	せ	す	す		ケ	に	で		部	取

ス	化	3	ま	質	上	人	こ	症	倒	サ	防	北	え	低	し	る	2	質	の
の	予	治	す	問	に	の	の	化	防	ー	の	区	、	い	か	方	医	問	為
内	防	療	。	の	な	生	事	予	止	ビ	為	は	財	為	し	が	療	の	の
容	（	と		第	り	活	が	防	の	ス	の	寝	政	、	生	増	が	第	検
を	介	投		2	健	の	医	の	為	や	サ	た	負	本	活	え	発	1	診
変	護	薬		は	康	質	療	為	の	負	ー	き	担	人	の	ま	達	は	事
え	、	中		公	寿	（	費	の	工	担	ビ	り	も	や	質	す	す	病	業
て	リ	心		的	命	ク	・	公	事	を	ス	防	増	家	（	。	る	気	や
い	ハ	か		先	の	オ	介	的	、	避	、	止	え	族	ク		と	予	人
く	ビ	ら		行	増	リ	護	先	骨	け	筋	を	ま	の	オ		寝	防	間
た	リ	健		投	進	テ	費	行	折	る	力	は	す	医	リ		た	の	ド
め	）	康		資	に	イ	の	投	後	た	維	じ	。	療	テ		き	お	ッ
に	中	維		の	貢	オ	抑	資	の	め	持	め		・	イ		り	考	グ
は	心	持		お	献	ブ	制	を	リ	の	の	と		介	オ		で	え	事
、	へ	、		考	し	ラ	を	す	ハ	生	為	す		護	ブ		長	を	業
新	医	予		え	ま	イ	も	る	ビ	活	の	重		の	ラ		寿	お	で
た	療	防		を	す	フ	た	べ	リ	支	デ	症		負	イ		を	伺	す
な	サ	、		お	。	）	ら	き	等	援	イ	化		担	フ		全	し	。
サ	ー	重		伺		の	し	で	、	や	ケ	予		が	）		う	ま	
ー	ビ	症		し		向	本	す	重	転	ア			増	が		す	す	

連	護	様	作	複	し	知	日	問	寝	間	の	4	質	奨	重	診	つ	の	ビ
携	と	々	用	数	か	症	常	介	た	の	超	北	問	等	症	療	く	行	ス
が	医	な	等	の	も	の	生	護	き	連	高	区	の	、	化	報	る	動	供
必	療	リ	の	診	個	診	活	・	り	携	齡	の	第	区	予	酬	必	様	給
要	、	ス	リ	療	々	断	の	転	に	が	者	3	は	に	防	明	要	式	だ
に	医	ク	ス	所	の	や	介	倒	な	必	社	は	区	よ	の	細	が	や	け
な	療	の	ク	か	患	予	護	骨	っ	須	会	区	の	る	書	あ	生	で	
り	と	回	も	ら	者	防	、	折	た	と	に	積	積	積	レ	り	活	は	
ま	リ	避	出	複	に	な	食	か	後	な	なる	極	極	関	セ	ま	態	な	
す	ハ	と	て	数	同	ど	事	ら	期	り	者	的	的	与	プ	す	度	く	
。	ビ	重	き	の	時	で	サ	の	高	ま	人	関	な	が	ト	。	の	保	
	リ	症	ま	薬	多	す	ー	回	齡	す	口	与	保	有	を		転	険	
	等	化	す	を	発		ビ	復	者		の	を	健	効		を	換	者	
	、	予	。	も	に		ス	の	の		半	お	指	で		を	を	た	
	各	防		ら	発		、	為	在		数	伺	導	す		促	す	る	
	担	の		う	生		軽	の	宅		が	し	や	。		す	仕	北	
	当	為		患	し		症	リ	医		が	ま	通			組	区	が	
	者	に		者	ま		者	ハ	療		歳	す	院			み	本	本	
	間	は		の	す		の	ビ	・		以		勸			を	を	人	
	の	介		副	す		認	リ	訪		上								人

デ	こ	情	で	島	設	病	参	た	6	先	を	質	的	個	で	完	行	5	質
ー	れ	報	保	内	が	院	加	な	万	日	お	問	な	々	展	結	わ	従	問
タ	に	を	有	の	参	、	住	い	人	視	伺	の	記	の	開	せ	れ	来	の
を	よ	I	し	病	加	診	民	医	、	察	し	第	録	患	さ	ず	て	の	第
含	り	C	て	院	し	療	14,14	師	高	した	ま	5	が	者	れ	、	い	患	4
め	患	T	い	や	全	所	名	数	齡	佐	す	は	必	ご	今	後	治	者	は
て	者	を	る	診	施	、	は	等	化	渡	。	は	要	と	後	は	療	と	連
確	の	活	患	療	設	歯	人	、	率	ひ		体	と	の	他	・	一	つ	携
認	病	用	者	所	の	科	口	医	%	ま		系	な	検	の	サ	つ	に	っ
で	状	し	の	、	%	、	比	療	、	わ		な	り	査	サ	ー	の	い	て
き	経	て	診	薬	に	薬	の	資	全	り		記	ま	、	ー	ビ	医	考	え
、	過	共	療	局	な	、	24	源	国	ネ		録	す	治	ビ	ス	療	機	を
不	や	有	情	、	り	介	%	も	平	ッ		に	。	療	ス	と	関	を	考
要	服	す	報	介	ま	護	で	不	均	ト		つ		、	と	の	や	を	考
な	薬	も	や	護	す	施	す	足	の	は		い		投	の	連	そ	を	考
検	状	の	画	施	。	設	。	し	6	住		て		薬	携	だ	こ	を	考
査	況	で	像	設		等		て	割	民		区		等	の	け	こ	を	考
や	が	す	・	が		33		い	に	が		の		の	で	は	こ	を	考
処	既	方	処	個		施		ま	満	約		考		体	は	は	こ	を	考
方	存	。	方	々				す				え		系	中	中	は	を	考

。

で	切	質	対	質	認	月	昨		④	I	国	務	電	フ	示	こ	に	検	の
き	な	問	応	問	知	、	年	ラ	認	C	保	フ	子	ア	や	と	お	査	重
る	医	の	す	の	症	新	十	ン	知	T	・	ロ	カ	レ	相	で	い	予	複
限	療	第	る	第	高	オ	一	〜	症	の	社	ー	ル	ン	談	、	て	約	が
り	・	2	区	1	齡	レ	月	に	施	活	保	も	テ	ス	、	も	も	も	避
早	介	は	の	は	者	ン	の	つ	策	用	の	変	を	も	ネ	介	可	け	
い	護	認	認	新	に	ジ	認	い	、	に	検	え	前	可	ッ	護	能	ら	
段	の	知	知	オ	優	プ	知	て	推	つ	診	な	提	能	ト	職	で	れ	
階	提	症	症	レ	し	ラ	症	お	進	い	デ	い	と	で	ワ	員	、	、	
か	供	の	施	ン	い	ン	サ	尋	総	て	ー	画	し	す	ー	が	更	他	
ら	に	様	策	ジ	地	が	ミ	ね	合	区	タ	期	な	。	ク	の	に	の	
の	つ	態	の	プ	域	策	ツ	し	戦	の	と	的	い		内	状	介	医	
支	い	に	拡	ラ	作	定	ト	ま	略	考	も	シ	、		で	態	護	療	
援	て	応	充	ン	り	さ	を	す	（	え	連	ス	各		施	を	施	機	
が	お	じ	を	の	を	れ	受	。	新	を	携	テ	施		設	確	設	関	
必	尋	た	お	7	目	ま	け		オ	お	し	ム	設		認	や	在	へ	
要	ね	適	伺	つ	指	し	て		レ	伺	い	で	の		で	宅	診	の	
で	し	時	し	の	し	た	今		ン	し	ま	す	現		き	す	療	紹	
す	ま	・	ま	柱	ま	。	年		ジ	ま	ま	。	行		、	す	診	介	
が	す	適	す	に	す		1		プ	す	す		業		指	る	療	や	

。

。

。

。

。

断	特	質	⑦	養	質	推	症	質	者	⑥	術	ー	B	が	な	医	状	質	区
・	に	問	認	成	問	進	の	問	へ	学	ユ	ジ	P	提	い	療	態	問	の
対	認	の	知	講	の	と	人	の	の	校	マ	の	S	供	よ	機	(の	対
応	知	第	症	座	第	あ	を	第	理	教	ニ	考	さ	れ	う	関	B	第	応
・	症	1	の	開	2	り	含	1	解	育	チ	え	へ	る	、	・	P	3	を
認	初	は	人	催	は	ま	む	は	に	等	ユ	方	の	循	ふ	介	S	は	お
知	期	認	の	の	小	す	高	新	つ	に	ー	と	適	環	さ	護	D	妄	伺
症	集	知	介	可	・	区	齡	オ	い	お	ド	フ	切	型	わ	施)	想	し
カ	中	症	護	能	中	教	者	レ	て	ける	の	ラ	な	の	し	設	や	・	ま
フ	支	の	者	性	学	委	へ	ン	お	導	ン	ン	対	仕	い	等	身	う	す
ェ	援	人	の	を	校	の	の	ジ	尋	入	ス	ス	応	組	場	で	体	つ	。
に	チ	の	支	お	で	見	理	プ	ね	に	つ	で	と	み	所	の	合	・	
つ	ー	介	援	伺	認	解	解	ラ	し	つ	い	開	し	に	で	対	併	徘徊	
い	ム	護	に	し	知	を	を	ン	ま	て	い	発	不	つ	適	応	症	等	
て	に	者	つ	ま	症	お	深	に	。	同	れ	さ	意	い	切	が	見	行	
お	よ	の	い	。	サ	伺	め	学		意	た	れ	メ	て	な	固	ら	動	
伺	る	負	で		ポ	し	る	校		ス	ケ	サ	ッ	す	ー	定	れ	・	
し	早	担	す		ー	ま	教	で		ア	ア	ビ	セ	。	ス	化	て	心	
ま	期	軽			タ	す	育	認		技	ア	ス				さ	も	理	
す	診	減	。		ー	。	の	知		す	セ					れ			

今年4月1日に保育園に入園できなかつた子	人の定員拡大を図っています。	大を実施、平成27年度は233人、28年度には277	立認可保育所の新設や区立保育所等の定員拡大	北区では保育所の待機児童を解消する為、私	①待機児童の解消についてお尋ねします。	度についてです。	大きな質問の第三は子ども・子育て支援新制	なれないかお伺します。	両親共介護5と両親共介護3です、区が力に	両親の介護費を稼ぐだけで結婚もできません	パー、夜は自分で介護のケースです。	所のケースと母が施設・父を自宅で昼はヘル	共に仕事しており、母が施設・父が病院に入	で両親の介護をして一人娘がいまします。	区内に両親の介護をして一人息子、別件	の両立についてお伺します。	質問の第3は介護者の負担軽減と仕事と介護	の認知症介護教室についてお伺します。	質問の第2は介護者たる家族の支援家族向け
----------------------	----------------	----------------------------	-----------------------	----------------------	---------------------	----------	----------------------	-------------	----------------------	----------------------	-------------------	----------------------	----------------------	---------------------	--------------------	---------------	----------------------	--------------------	----------------------

。

滝野川西地域の板橋駅はバリアフリー化に併	る非常に利便性の高い施設です。	勤途中駅で子供を預け、帰りに子どもと帰れ	0歳から5歳を預かる保育園で、保護者が出	大塚、とりとるぱんぷきんずを視察しました。	公明党議員団は大塚駅南口ビル内に開設した	要と考えますが区の見解をお伺します。	質問の第2は今後更なる待機児、解消策が必	があります、その年代の総数は107,422人です。	5,000人を超える年代が26歳〜64歳の幅	今年1月1日現在で1年あたり、男女総数	えました。	就学前人口（0〜5歳児）が前年対比304人増	児は前年対比133人増えています。	込者数は前年対比16人増えました、特に1歳	平成23年4月期の入所審査（第一次審査）申	質問の第1はこの結果の分析をお伺します。	3歳児22人で、総数は過去最高です。	その内訳は0歳児20人、1歳児8人、2歳児	ども達は100人で前年対比20人増えました。
----------------------	-----------------	----------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	--------------------	----------------------	---------------------------	------------------------	---------------------	-------	------------------------	-------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	--------------------	-----------------------	------------------------

を	幼	と	4	1	3	く	員	2	1	型	育	育	昨	区	で	質	を	質	せ
作	児	地	事	シ	居	こ	が	小	家	の	を	事	年	の	は	問	お	問	、
り	期	域	業	ッ	宅	人	保	規	庭	保	必	業	の	認	認	の	伺	の	滝
認	の	の	所	タ	訪	、	育	模	的	育	要	等	第	証	可	第	い	第	野
可	保	子	内	丨	問	研	士	保	保	で	と	（	3	保	外	4	し	3	川
し	育	ど	保	）	型	修	、	育	育	す	す	地	回	育	、	は	は	口	
確	量	も	育		保	を	B	事	事	。	る	域	定	所	保	こ	こ	に	
保	の	を	事		育	受	型	業	業		乳	型	例	に	育	の	の	駅	
し	不	預	業		事	け	は	（	、		幼	保	会	対	施	駅	駅	ビ	
ま	足	か	（		業	た	保	定	定		児	事	で	す	設	ビ	ル	建	
す	が	る	会		（	家	育	員	員		を	業	条	見	の	ル	の	設	
。	あ	事	社		1	庭	士	6	5		対	）	例	解	ま	中	中	計	
	る	業	の		対	的	1	く	人		象	は	制	を	ま	に	に	画	
	場	）	保		1	保	、	こ	以		と	3	定	お	で	保	保	が	
	合	で	育		の	育	C	こ	下		し	歳	し	伺	す	育	育	あ	
	は	す	施		保	者	型	人	、		た	未	ま	し	。	園	園	り	
	区		設		、	）	は	、	保		次	満	ま	す		の	の	ま	
	が		で		ベ		定	A	育		の	の	す		開	開	す	。	
	基		社		ビ		員	型	マ		4	保	保		設				
	準		員				6	は	マ		類								

援	北	子	変	質	保	こ	め	国	設	保	の	幼	財	②	ま	予	質	が	先
事	区	育	わ	問	護	の	た	が	さ	育	給	稚	政	新	で	算	問	ス	日
業	は	て	っ	の	者	公	金	通	れ	事	付	園	支	制	確	の	の	タ	視
計	ニ	は	っ	第	負	定	額	常	ま	業	(・	援	度	保	制	第	ッ	察
画	ー	保	て	1	担	価	を	教	し	等	施	認	の	の	す	約	5	フ	し
を	ズ	護	く	は	額	格	公	育	た	へ	設	定	方	ポ	る	下	は	の	た
策	調	者	か	財	(か	定	や	。	の	型	法	が	イ	の	で	積	半	王
定	査	に	お	政	従	ら	価	保		給	給	変	わ	ン	か	家	極	分	子
し	を	第	伺	支	来	公	格	育		付	付	り	ま	ト	、	庭	的	の	地
ま	行	一	し	援	の	費	と	で		()	ま	し	に	お	的	な	B	区
す	い	の	ま	の	保	負	い	か		地	と	し	た	つ	考	保	公	型	の
。	、	責	す	方	育	担	い	か		域	区	た	。	い	え	事	募	で	小
	子	任		法	料	額	ま	る		型	が	。		て	を	業	を	良	規
	ど	が		が	(を	す	経		保	認			お	お	等	と	い	模
	も	あ		変)	引	。	費		育	可			尋	伺	を	考	印	保
	・	り		わ	に	い		を		給	す			ね	し	区	え	象	育
	子	ま		る	り	た		算		付	る			し	は	ま	ま	で	は
	育	す		と	ま	金		出		(家			ま	ど	す	が	し	保
	て	。		何	す	額		し)	庭			す	こ	が	た	た	育
	支			が	。	が		定		創	的			。		こ	。	。	士

質	見	質	し	し	区	つ	③	任	質	れ	事	（	給	に	と	園	区	（	地
問	込	問	、	て	は	い	地	は	問	ま	業	委	付	基	区	・	は	定	域
の	み	の	こ	北	子	て	域	区	の	せ	者	託	の	づ	で	保	都	員	型
第	と	第	の	区	ど	お	の	に	第	ん	は	費	対	き	認	育	で	こ	保
2	提	1	事	子	も	尋	実	な	2	。	区	）	象	、	可	園	認	人	育
は	供	は	業	ど	・	ね	情	の	は		の	を	と	認	を	・	可	以	事
地	体	子	を	も	子	し	に	か	子		一	支	な	定	し	認	下	業	（
域	制	ど	実	・	育	ま	応	お	育		確	払	る	区	た	定	）	3	歳
子	の	も	施	子	て	す	じ	伺	て		認	い	事	分	地	こ	等	未	
育	確	・	し	育	家		た	し	支		一	ま	を	ご	域	ど	は	満	
て	保	子	て	て	庭		子	ま	援		が	す	一	と	型	も	区	（	
支	の	育	い	支	を		ど	す	新		無		確	の	保	園	が	満	
援	進	て	ま	援	対		も		制		い		認	利	育	）	認	）	
拠	捗	支	す	事	象		・		度		と		し	用	事	（	可	の	
点	を	援	。	業	と		子		は		支		、	定	業	定	で	小	
事	お	事		計	す		育		最		払		給	員	に	員	き	規	
業	伺	業		画	る		て		終		を		付	を	対	20	ま	模	
に	し	の		を	事		支		的		受		費	定	し	名	す	保	
つ	ま	量		策	業		援		な		け			め	申	以	。	育	
い	す	の		定	と		に		責		ら			、	請	上			

。

）

質 問 の 第 2 と し て 今 後 4 と 6 年 生 の 応 募 が 増	変 更 は な い の か お 伺 し ま す 。	質 問 の 第 1 は 2 年 度 の 利 用 者 数 と 実 施 場 所 に	外 は 児 童 館 で 育 成 と お 聞 き し て い ま す 。	施 し て い る 処 は プ ラ ン の 実 施 場 所 で 、 そ れ 以	く 6 年 生 に つ い て は 放 課 後 子 ど も プ ラ ン を 実	当 面 1 と 3 年 生 に つ い て は 学 童 ク ラ ブ で 、 4	学 し て い る 児 童 、 6 年 生 ま で 拡 大 さ れ ま し た	放 課 後 児 童 健 全 育 成 事 業 の 支 援 は 小 学 校 に 就	生 を 放 課 後 や 夏 休 み な ど に 預 か る 事 業 で す 。	共 稼 ぎ な ど で 日 中 、 保 護 者 が 家 に い な い 小 学	④ 放 課 後 児 童 、 健 全 育 成 事 業 （ 学 童 保 育 ） は	始 と 聞 き ま す 、 そ の 進 捗 状 況 を お 伺 し ま す 。	今 年 度 に 利 用 料 金 助 成 型 、 病 児 保 育 事 業 を 開	て お 尋 ね し ま す 。	質 問 の 第 3 と し て 病 児 病 後 児 保 育 事 業 に つ い	事 業 内 容 を お 伺 し ま す 。	し 、 地 域 子 育 て 支 援 の 拠 点 と お 聞 き し ま す 。	児 童 館 が 所 は 今 後 、 こ ど も セ ン タ ー に 移 行	て お 尋 ね し ま す 。
--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--------------------------------------	--	---	--	---	--------------------------------------

伴	区	視	区	年	十	く	沿	発	画	改	平	多	鉄	度	十	1	を	大	え
う	十	野	間	に	条	り	道	か	道	定	成	く	道	が	条	十	創	き	た
沿	条	に	に	埼	駅	が	ま	ら	路	し	年	の	に	高	地	条	出	な	場
線	駅	入	位	京	付	示	ち	東	、	、	に	課	よ	く	区	の	す	質	合
ま	付	れ	置	線	近	さ	づ	口	全	鉄	、	題	る	防	は	ま	る	問	の
ち	近	た	づ	十	の	れ	く	の	線	道	十	を	地	災	、	ち	ま	の	対
づ	の	沿	け	条	沿	ま	り	都	事	立	条	抱	域	性	木	づ	ち	第	応
く	道	線	た	駅	線	し	に	市	業	体	地	え	分	の	造	く	づ	四	を
り	路	ま	事	付	ま	た	至	基	化	交	区	て	断	向	住	り	り	は	お
検	及	ち	で	近	ち	。	る	盤	や	差	ま	い	や	上	宅	に	北	伺	
討	び	づ	、	を	づ		ま	整	、	化	ち	ま	幹	が	が	つ	区	し	
会	鉄	く	北	鉄	く		で	備	特	の	づ	す	線	強	密	い	の	ま	
を	道	り	区	道	り		展	、	に	早	く		道	く	集	て	魅	す	
立	の	の	は	立	は		開	補	十	期	り		路	求	し	お	力	。	
ち	立	為	鉄	体	、		す	助	条	実	基		の	め	災	お	や		
上	体	、	道	事	都		べ	8	駅	現	本		未	ら	害	尋	新		
げ	交	東	立	業	が		き	3	西	や	構		整	れ	時	ね	た		
ま	差	京	体	候	平		ま	号	口	都	想		備	て	の	し	な		
し	化	都	化	補	成		ち	線	再	市	を		な	お	危	ま	価		
た	に	北	を	補	20		づ	の	開	計			ど	り	険	す	値		

は	体	北	現	十	域	質	望	質	く	実	は	ブ	昨	ま	都	十	付	出	検
埼	化	区	状	条	、	問	、	問	り	に	十	ロ	年	し	と	条	近	し	討
京	の	の	と	駅	不	の	現	の	基	展	条	ッ	ニ	た	連	駅	沿	、	会
線	為	長	課	西	燃	第	状	第	本	開	地	ク	月	°	携	東	線	解	で
十	、	年	題	地	化	2	の	1	計	し	区	部	十		し	側	ま	決	は
条	本	の	に	区	さ	は	課	は	画	て	ま	会	条		都	の	ち	す	十
駅	年	課	つ	と	年	埼	題	こ	を	い	ち	に	地		市	範	づ	べ	条
付	2	題	い	特	プ	京	に	れ	取	く	づ	て	区		基	囲	く	き	地
近	、	あ	て	定	ロ	線	つ	ま	り	為	く	説	ま		盤	に	り	優	区
の	都	っ	お	整	ジ	の	い	で	ま	に	り	明	ち		整	定	の	先	の
連	・	た	伺	備	ェ	西	て	の	と	十	基	会	づ		備	め	方	課	ま
続	北	十	し	路	ク	側	お	地	め	条	本	を	く		の	ま	針	題	ち
立	区	条	ま	線	ト	で	伺	域	ま	駅	構	実	り		基	し	を	の	づ
体	・	付	す	・	の	取	し	住	し	付	想	施	全		本	た	検	具	く
交	J	近		補	不	り	ま	民	す	近	に	し	体		的	°	討	体	り
差	R	の		助	燃	組		の		沿	基	今	協		考		し	策	の
化	東	鉄		73	化	む		意		線	づ	年	議		え		、	や	課
計	日	道		号	特	木		見		ま	き	1	会		を		対	十	題
画	本	立		線	区	密		や		ち	、	月	の	固		象	条	を	抽
、				の	・	地		要		づ	着	に	各		め		を	駅	

年	い	高	れ	こ	経	れ	子	王	2	手	や	質	路	た	十	影	都	開	及
齡	ま	齡	て	の	年	す	母	子	都	法	今	問	は	道	条	響	は	催	び
が	す	者	い	都	劣	で	子	本	営	を	後	の	、	路	駅	評	施	し	鉄
高	。	や	ま	営	化	に	ア	町	王	用	に	第	検	及	付	価	工	ま	道
い		障	せ	住	が	ヨ	パ	2	子	い	向	3	討	び	近	、	者	し	付
程		害	ん	宅	激	年	ー	丁	ア	る	け	は	を	駅	沿	調	の	た	属
、		を	。	に	し	近	ト	目	パ	の	た	連	進	前	線	査	J	。	街
転		お		は	く	く	は	に	ー	か	考	続	め	の	ま	計	R	路	
居		持		エ	耐	経	1956	あ	ト	お	え	立	る	広	ち	画	東	の	
や		ち		レ	震	過	年	る	建	伺	方	体	に	場	づ	書	日	都	
住		の		ベ	強	し	か	都	替	し	に	交	留	整	く	を	本	市	
替		方		ー	度	て	ら	営	に	ま	つ	差	ま	備	り	提	と	計	
は		が		タ	に	い	1960	王	つ	す	い	化	っ	と	基	出	共	画	
大		多		・	不	ま	年	子	き	。	て	計	っ	な	本	し	に	素	
変		く		浴	安	す	に	ア	お		、	画	っ	る	計	ま	都	案	
な		居		室	が	。	に	パ	尋		ど	と	っ	鉄	画	し	知	、	
労		住		が	あ		に	ー	ね		の	の	っ	道	で	た	事	説	
力		さ		設	り		に	ト	し		よ	整	っ	付	示	。	に	明	
が		れ		置	ま		に	、	ま		う	合	っ	属	さ		環	会	
か		て		さ	す		に	王	す		な	性		街	れ		境	を	

